

第61回徳島県高等学校総合体育大会陸上競技大会

競技注意事項

<鳴門総合運動公園第2陸上競技場>

1. 競技規則について

本大会は、2021年日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。

2. 練習について

(1) 練習は、指定された練習場所を使用する。補助競技場では、トラック競技・跳躍競技および砲丸投げの練習を行うことができる。<砲丸投げの練習は必ず顧問教諭が立ち会うこと>

(2) 競技場内での練習は審判員の指示に従う。投てきの練習には特に安全に注意して行うこと。

雨天練習場の使用について・・・○走る方向は反時計回り同一方向とする。

○ハードルは使用できない。

3. 招集について

(1) 競技者招集は、別紙の通りである。

(2) 招集時刻は競技時刻を基準とし、競技順序に記載通りとする。

*招集時刻は組により異なる場合がある。(競技順序に招集時刻記載)

*フィールド競技においても参加人数により招集時刻が異なる。(競技順序に招集時刻記載)

*トラック競技の招集場所は、別紙招集場所参照

(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場したものととして処理する。

(4) 招集の手順

① 競技者は招集開始時刻までに、別紙招集場所記載の招集所で待機し、点呼を受ける。その際、競技者係にアスリートビブス(ナンバーカード)・スパイク・衣類・持ち物等の確認を受ける。

② 2種目を同時に兼ねて出場する(競技終了時刻と次種目の招集開始時刻が重なる)競技者は、あらかじめ本人または代理人が本部(第2競技場倉庫)に2種目同時届けを提出する。(2種目同時届けは事前に配布してある指定の用紙を使用する)

③ リレー競技に出場するチームは、その種目の競技開始時刻の1時間前までに本部記録担当係にオーダーを記入したオーダー用紙を、1枚提出すること。(オーダー用紙は、事前に配布してある指定の用紙を使用する)

④ 欠場する場合は、招集開始時刻までに本部記録担当係に欠場届を必ず提出すること。

(欠場届は事前に配布してある指定の用紙を使用する)

4. 競技について

(1) 競技者は、当該種目以外グランド(競技区域)内に立ち入ることはできない。

(2) 短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。

(3) トラック競技において、欠場者がでた場合はそのレーンを空けて行う。

(4) トラック競技(セパレート種目)において、7名(7チーム)以内の場合は2～8レーン、8名(8チーム)の場合は1～8レーンで行う。(第2競技場は8レーン仕様のため、トラック競技の決勝種目は8名で実施する)

選出方法は、8位同着が数名出た場合は、8位決定戦を行うか抽選で8位の選出を行う。

決定戦開始時刻については、監督会議決定事項により実施する。

(5) トラック競技の計測は、全て写真判定装置(全自動電気計時1/100)で行う。

(6) 4×100mリレーの第2・第3・第4走者は、チームで用意した目印用テープ(1カ所)を置くことができる。

(7) 4×400mリレーの第3・第4走者のバトンの受け渡しは、コーナートップ順に内側より並ぶこと。コーナートップとは、第3コーナー内側に示された黄色旗を通過した時点のことである。この後は、並んだ順序を変えてはならない。なお、次走者は、テークオーバーゾーンの内側より走り出さなければならない。

(8) 跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意したマークを、2カ所置くことができる。マークはそれぞれの審判員が現地で渡す。それ以外は使用してはならない。

(9) 携帯電話等の通信機器を競技場内に持ち込むことはできない。

(10) 競技中に起きた競技者の行為または順位に関する抗議は、規則第146条に基づき、正式に結果が発表されてから30分以内に、同一日に次のラウンドが行なわれる種目では15分以内に、当該競技者自身または、

顧問が口頭で審判長に申し出ること。

(11) スタートについては、2021 年度ルールに準ずる。

5. 競技用シューズについて

スパイクの長さは9mm をこえてはならない。また、走高跳およびやり投の場合は12mm をこえてはならない。これらのスパイクの直径は、先端が4mm 以内でなければならない。また、スパイクの数は11本以内であれば何本でもよい。WA 規則第 143 条の TR5 の規定外シューズ（トラック競技での厚底シューズ使用）については招集所で厚さチェックを行う。「フィールド競技用シューズ TR5.5」については、本大会では適用除外とする。

6. アスリートビブス(ナンバーカード)について

アスリートビブスは指定された大きさ(縦 16cm×横24cm)で、ユニフォームの胸部と背部に付けること。

但し、移行期間のため縦が 20cm の場合も今大会は許可する。

折り曲げたり、汚したりしないこと。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸部または背部だけでもよい。

またトラック競技者は写真判定用の腰ナンバー標識(プログラム記載の左側に示された番号)を各自で用意し、パンツの右後方に付けること。

但し 1500m 以上の(1500m を超える)競技及び 4×400mR についてはプログラム記載の左側に示された番号の腰ゼッケンを左右に着けなければならない。腰ゼッケンは各自(各校)で用意し、安全ピンなどで剥がれ落ちないように対策をする。(主催者が用意しない)

また、5000m、3000mSC、3000m の競技はアスリートビブスの位置に、腰ゼッケンと同じ番号のゼッケンをつけなければならない。大きさはA5サイズとし、剥がれ落ちない対策を行い各自(各校)で用意する。

7. 競技場の中に商品名のついた衣類・バッグ類を持ち込む場合について

陸上競技ルールブック 2021「競技会における広告および展示物に関する規定」の通りとする。

以下「抜粋」

(1) 上半身の衣類

a) ウインドブレーカー・T シャツ・トレーナー類

製造会社名/ロゴ:1箇所

文字の高さ5cm 以内、トータルのロゴの高さ5cm 以内で40cm²以内の長方形。

b) ランニングベスト・レオタード

製造会社名/ロゴ:1箇所

文字の高さ5cm 以内、トータルのロゴの高さ5cm 以内で40cm²以内の長方形。

(2) 下半身の衣類

製造会社名/ロゴ:1箇所

文字の高さ5cm 以内、面積40cm²以内。

(3) ソックス

製造会社名/ロゴ:1箇所 高さ3cm以内、面積6cm²以内。

(4) バック

製造会社名/ロゴ:2箇所 面積40cm²以内。

(5) その他の衣類(帽子・サングラス・手袋など)

1つにつき1箇所:面積6cm²以内。メガネ・サングラスなどは2カ所まで表示することができる。

(6) 商標違反時の対応

着替えさせる(裏返しに着させる)・テープを貼って隠す。

8. 競技の抽選ならびに番組編成について

(1) 予選におけるトラック競技のレーン順、ならびに跳躍・投てき競技の試技順は、プログラム記載の左側に示された番号順とする。

(2) リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいても、その競技会のリレーまたは、他の競技種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても、出場するメンバーのうち、少なくとも2人は当該リレー種目に申し込んだメンバーでなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り、他の競技者と交代することができる。

また、リレー競技に出場するチームは、同一のユニフォームで参加しなければならない。

9. 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具は全て主催者が用意した物を使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポールに限り個人所有の物を使用することができる。ポールの検査は点呼時に跳躍審判員が行う。
- (2) 練習用として個人の用具は主競技場に持ち込んではいならない。

10. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

走高跳	男子	1m40 または 1m70(練習)	1m40 ~ 1m75 までは 5cm	以降 3cm
	女子	1m20 または 1m45(練習)	1m20 ~ 1m50 までは 5cm	以降 3cm
棒高跳	男子	1m60、2m60、3m60 のいずれか(練習)	1m60 ~ 3m60 までは 20cm	以降 10cm
	女子	1m50、2m50、3m00 のいずれか(練習)	1m60 ~	以降 10cm

- (1) 走高跳・棒高跳の決勝で最後の一人になり優勝者が決まるまで、上記のバーの上げ方とする。
- (2) 第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm 単位とする。

12. 競技場の入退場について

トラック競技の競技者の入退場は、係員の指示に従うこと。

13. 表彰およびインタビューについて

表彰式は行わない。各種目第3位までの入賞者は玄関ホールで賞状をもらう(係員の指示を受けること。)

14. 競歩競技について

競技進行上、以下の時間内に最終周に入れない場合はその時点で失格とする。

男子 5000mW・・・35分00秒 女子 5000mW・・・35分00秒

15. その他

- (1) 大会期間中、競技場で発生した傷害や疾病は、医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。
なお、参加者は健康保険証を持参すること。感染症の疑いがある症状の場合は医務室での処置は一切行わない。この場合は引率責任者(顧問)が責任を持って処置する。
- (2) 更衣は第2陸上競技場の更衣室を利用することができる。ただし、貴重品は各自で保管すること。
- (3) 記録証の交付を希望する競技者は、本部の記録係に交付料金500円を添えて申し込むこと。
- (4) 記録は徳島陸協 HP に記載する(5~10分ごとに自動更新予定)。
- (5) 競技場内でテントを張れる場所は、控え場所のみとする。控え場所はポカリスエットスタジアムのサイド・バックスタンド 2F コンコースとし、競技場スタンド内は全て立入禁止とする。横断幕(のぼり等)についての設置は各校控え場所のみ設置を認める。ただし、個人名入りの横断幕等は禁止する。
- (6) その他、詳細については事前監督会議で説明する。
- (7) 優秀選手について
 - ① 今大会記録が、昨年度の全国高校ランキングで20位以内に相当する選手から選考する。
 - ② ①の該当者がいない場合には優勝校から選出する。
- (8) 前回大会優勝校にはレプリカを与える。連続優勝については5・10年で表彰する。5年以上10年に達しない場合にも表彰し偉業を讃える。
- (9) 種目結果の正式発表時刻は記録確定時刻とする。

16. 長距離種目の番組編成について

- ・5000m について、出場者が 30 名を超えない場合は決勝のみとする。
- ・1500m を超える競技において、その組の出場者の半分を超える選手が次のラウンドに進む場合は、そのラウンドを行わない。